

## エスペラント版ウィキペディアの記事数が10万件超え

『ウィキペディア』は、インターネットの多言語版の百科事典として大変有名です。そのエスペラント版 VIKIPEDIO, La libera enciklopedio は2001年11月に開設されました。登録記事は徐々に増えていき、この度、10万件を超えました。6年半での快挙です。

<http://eo.wikipedia.org/wiki/>

なお、記事数1位の英語は約250万件、5位の日本語は約51万件です。エスペラントの順位は21位と健闘しています。



*La Harmonio* 218号(12月発行)の原稿締切は 11月14日(金)

Ĉis antaŭ la 14-a de la venonta novembro, bonvolu sendi vian manuskripton al la redakcio por la numero 218, kiu eldoniĝos en decembro, 2008.

MORIKAWA Kazunori, 13-8 Sirie, Oyamazaki-tyo, Kyoto-hu, 618-0071 Japanio

FAX +81-75-955-1627 Retadreso: kz\_morikawa@yahoo.co.jp

La Harmonio 217号 2008年8月12日発行

編集発行 Rondo Harmonia (国際語教育協議会)

### \* 組織委員会書記局

〒631-0815 奈良市西大寺新町 1-2-31-703 竹森浩俊

FAX 0742-36-4302 電子メール takeh703@deluxe.ocn.ne.jp

### \* La Harmonio編集部・財務担当

〒618-0071 京都府大山崎町尻江 13-8 森川和徳

FAX 075-955-1627 電子メール kz\_morikawa@yahoo.co.jp

### \* ホームページ <http://esperanto.jp> 電子メール [oficejo@esperanto.jp](mailto:oficejo@esperanto.jp)

### \* RH情報誌のホームページ <http://esperanto.jp/info.html>

### \* RH会費(会計年度 1月1日から12月31日まで)

#### RH会員お一人の場合

一般会費(La Harmonio PDFダウンロード) 2,400円

一般会費(La Harmonio 印刷物郵送) 3,600円

#### ご夫婦ともRH会員の場合

一般会費(LH PDFダウンロード) + 家族会費 4,200円 (2,400+1,800)

一般会費(LH 印刷物郵送) + 家族会費 5,400円 (3,600+1,800)

### \* 会費払込先 郵便振替口座 01050-3-11902 加入者名「国際語教育協議会」

または イーバンク銀行 マーチ支店 普通預金 3302340 「森川和徳」

(イーバンク銀行の口座からの送金は無料)

Aŭgusto 2008

# La Harmonio

N-ro 217

Tutlanda Organo de Rondo Harmonia

Eldonejo : Rondo Harmonia

## << 目次 >>

関西大会でエスペラント・ミニ大学を開催 2 頁

ねこの手エスペラント部発 山口百合子さん(横浜) 3~5 頁

解説:非接触カード 森川和徳さん(京都) 6~8 頁

同窓会続いています(広島RH同窓会) 山口百合子さん(横浜) 9~10 頁

IJK(国際青年大会)2008に息子と参加 泉 従道さん(長野) 11~12 頁

エスペラント界の行事 13~14 頁

沼津エスペラント会通信講座拡大キャンペーン 15 頁

第56回関西エスペラント大会の2日目、6月8日に「エスペラント・ミニ大学」(Esperanto-Universitato)を開催し、2テーマを発表しました。(2 頁参照)

笹沼一弘さんの発表(右)



← Ekranon (スクリーン)

## 関西大会でエスペラント・ミニ大学を開催

第56回関西エスペラント大会は去る6月7日(土)～8日(日)、京都府城陽市で開催され、不在参加を含む241人が参加しました。この大会の2日目、6月8日(日) 10:00～11:00の分科会の枠でエスペラント・ミニ大学(Esperanto-Universitato)を開催しました。参加者は約20名。関西大会でミニ大学を開催したのは初めての事です。

エスペラントによる教養講座として、一般参加者の方から"Bonega"との評価をいただきました。

テーマ1: "Historio de Familia Registro en Japanio" 笹沼一弘  
「日本における戸籍制度の歴史」



テーマ2: "Sekureco de Elektraĵaj Produktoj" 森川和徳  
「電気製品の安全性」



発表に使用した資料(スライド)は次のアドレスで公開しています。  
<http://esperanto.jp/info.html#univ>

## 沼津エスペラント会通信講座拡大キャンペーン

エスペラントの通信教育として「沼津エスペラント会通信講座」があります。今年7月末現在で、初級の累積受講者数が903人、中級が367人を数えます。受講料は、教材、添削料、送料を含め、初級が10,000円、中級が15,000円です。

この度、中級講座のキャンペーンが行われています。「国際語教育協議会(RH)」の会員であることを付記して申し込んでいただければ、受講料が10%割引の13,500円になります。これにより、あなたのエスペラント力(読む・書く・聞く・話す)を飛躍的に高める講座が受講できるでしょう。

キャンペーンは9月30日まで。このチャンスをお見逃しなく。

また、広報用パンフレット「地球語シリーズ」3種 2008年7月改訂版が完成しました。

- (1)地球語エスペラント
- (2)国際語エスペラント3分間でわかるパンフレット講座(おとな向け)
- (3)地球語エスペラントすぐわかるパンフレット講座(小中学生向け)

[版下セット3種一式 + 無制限プリント配布権]で500円(+送料100円)でお送りします。

見本のみご希望の方は、80円切手を2枚、沼津エスペラント会宛にお送りくだされば差し上げます。

和歌山市で10月に行われる日本エスペラント大会でも入手可能です。沼津エスペラント会のスタンドにお越しください。

問合せ: 沼津エスペラント会

〒410-0012沼津市岡一色501 藤巻謙一 宛

電話 + ファクス 055-922-3783

メールアドレス [esperanto@thn.ne.jp](mailto:esperanto@thn.ne.jp)

ホームページ <http://www2.tokai.or.jp/esperanto/>



Paguro

## RHエスペラント・ミニ大学での発表者の募集!

和歌山市の日本大会の2日目、10月12日(土)10:45~12:00の分科会の枠で、エスペラント・ミニ大学を行います。

つきましては、発表される方を募集しています。

この企画は、専門分野の話題をエスペラントを使って素人にやさしく発表するというものです。発表内容は本誌に掲載されます。発表時間は20分程度。

発表していただける方は、本誌編集部(16頁参照)宛て、8月末日までに申し込んでください。

### 第24回オーストラリアエスペラント夏期学校

22a Aŭstralia Esperanto-Somerkursaro

期日: 2009年1月7日~19日

会場: タスマニア大学の国際学生会館

ホームページ <http://aesk.esperanto.org.au/>

### 第94回世界エスペラント大会

期日: 2009年7月25日~8月1日

会場: ポーランド ピヤリストク市

ホームページ <http://94uk.bialystok.pl/>

L.L.ザメンホフ(1859年12月15日生)の生誕150周年を記念

ピヤリストクを紹介するエスペラント語のインターネットテレビが開設されています。

[http://www.itvc.pl/?link:nasze\\_programy,id:14](http://www.itvc.pl/?link:nasze_programy,id:14)

### 第96回日本エスペラント大会

期日: 2009年10月10日(土)~12日(月、休)

会場: 山梨県甲府市

### 第6回アジアエスペラント大会

期日: 2010年6月19日~23日

場所: モンゴル・ウランバートル市



Orfiŝoj naĝas.

## ねこの手エスペラント部発

山口百合子(横浜)

さて、PSI(注2)参加報告会が終わり我がエスペラント部は下火になるかと思いましたが、ますます気が乗ってきたようです。PSI参加後はエスペラントを止める予定だったさぐっちゃんは帰国後すっかりやる気になって、さっそくあちらでお世話になった gvidanto アレックスにお礼の返事を書きました。どんどんメールをくれるようにと返事があったと喜んでいました。彼女は家庭の事情で気が滅入ることも多いのですが、エスペラント学習に打ち込んでいるといやな事が忘れられると言っています。60歳代から70歳代のメンバーの中で、彼女だけは30歳代と若く、記憶力も意欲もあり、JEIに何回か行って本を購入し勉強しています。

前田さんは後期高齢者で腰痛もあり、海外のイベントに参加することはなかなか決心がつきませんが、自分でどんどん勉強されて質問も頻繁にメールできます。とくに初級レベルを脱している彼の質問に答えるのは私には荷が重いので、連れ合いが前田さん担当です。

「ねこの手ハウス」で絵手紙教室の講師役をしている大島さんはエスペラントで絵日記をつけていて、添削依頼の封筒にさえ季節の絵が描かれています。彼女が日記を添削してもらっていると知って、杉山さんは普段のメールをエスペラントで書いて送信して来るようになりました。PSIに参加した後エスペラントは止めるのよと宣言していた浅井さんも、さぐっちゃんとJEIに行って初級の本を買って来て添削してほしいと言って、時々ノートを提出して来ます。あまり勉強をしないで講師役を続けるつもりだった私は彼女達の文章の添削をするために、今までにないほどよく辞書を引くようになりました。

また、お孫さんの世話や当人の入院などで欠席が多い人達も気軽に長く続けられるように、また、家で勉強をしなくても楽しめるように準備に時間

[注1] ねこの手

正式名称は「自立支援の会グループねこの手」。横浜市南区にあるボランティア団体。エスペラント部は昨年始めに発足し、多くの方が昨年の横浜の世界大会に参加されました。昨年12月にはザメンホフ祭も開催されました。

[注2] PSI

Printempa Semajno Internacia「国際春季週間」。ドイツで毎年3月に開催。本誌前号の記事のとおり、山口百合子さんを含む4名の方々が参加されました。

をかけています。なかなか超初心者から脱することができない人達もいますが、語学は普段使わない脳細胞を刺激して良いという説を頼りに、脳トレと称して参加しているようです。また、みんな「ねこの手ハウス」でしょっちゅう会う親しい人達であることも気軽に楽しく続けられる理由かもしれません。

ねこの手は一生の会として続くので、エスペラント部も末永く続けるためにマンネリ化しないように、外国人のエスペランチストとの交流会を開催したり、今までねこの手に来て顔見知りになった外国人エスペランチストからのメールを全員に転送したり、参加できそうな海外のプログラムの紹介をしたり・・・自分はエスペラント案内人の面が大きいと思っています。メンバー12名中5名が藤巻さんの通信教育(注3)を終了又は進行中で、また通信教育は受けていませんがネットからダウンロードして自学している人も数名いるので、9月の藤巻さんが来れる日に合わせて Somera festeto と称していつもとは少々違う日を設ける事にしました。行き当たりばったりですが、頭と心に何か少しは残るかも知れないというねこの手風のイベントです。

嬉しいことがありました。「ねこの手ハウス」に毎日のように赤い顔をして来てコーヒーを飲んだり食事をしたりされる常連のK氏が今度エスペラントの学習会に参加したいといわれました。以前2回参加されたことがありますが、アルコールを飲んで来られるので、今度はしらふで来てくださいねと言って以来参加されなくなりましたが、「ねこの手ハウス」だけには相変わらず赤い顔で来ている人です。何人かのスタッフから図書館でエスペラントの本を一生懸命読んでいるK氏の姿を見た聞いていたので、まだ関心はあるのかとは思っていましたが「お酒は飲まないで参加します」と彼の口から出た言葉を聞いて驚きました。そして実際参加し始められて、メンバーは13名になりました。彼は昔海外で仕事をしていて語学に関心があり、独学し続けられた成果もあってみなさんと一緒に楽しく学んでいるようです。顔は相変わらず・・・ですが。

今も知人にエスペラントの事を話すと、まだエスペラントって存在しているの？とか、それって何？と言われたと苦笑してメンバーが話していますが、世界大会の頃何人かの外国人と交流をしたり、一緒に鎌倉ツアーに行ったり、ドイツでのセミナーに参加したり、最近ではマンフレッドを交えて「ねこの手ハウス」で交流会をしたり(次ページの写真を参照)と数々の体験していますし、これからも交流の可能性がある事を知っているので、エス

[注3] 藤巻さんの通信教育：本号の15ページを参照してください。

## エスペラント界の行事

行事の詳細を知りたい方は  
編集部までお問い合わせ  
ください。

### 第95回日本エスペラント大会

期日：10月11日(金)～13日(月、休)

会場：和歌山県民文化会館小ホール等

ホームページ <http://sky.geocities.jp/jesperantok08/>

テーマ：地域と世界 - 多様性・出会い・発展

参加費：8月1日以降 一般 7,000円

(参加費は事前支払いで、宿泊・食事などの費用は含まず)

記念品：有吉佐和子著・小西岳訳『華岡青洲の妻』

問合せ・参加申込み先

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町12-3 (財)日本エスペラント学会

TEL 03-3203-4581 FAX 03-3203-4582

電子メール [jek08@jei.or.jp](mailto:jek08@jei.or.jp)

郵便振替口座 00100-4-400372 「日本エスペラント大会」

### 第9回中四国エスペラント大会

期日：11月1日(土)・2日(日)

会場：山口市湯田温泉「かんぼの宿 湯田」

ホームページ [http://esperanto.yu-nagi.com/kon\\_yamaguti.htm](http://esperanto.yu-nagi.com/kon_yamaguti.htm)

### 関東エスペラント連盟 秋の合宿

期日：11月1日(土)～3日(月、祝日)

会場：八ヶ岳エスペラント館 (山梨県北杜市)

### 東北エスペラント大会

期日：11月8日(土)・9日(日)

会場：仙台市、詳細未定

### 第27回日韓中青年セミナー(KS)

期日：12月27日(土)～29日(月)

場所：横浜ベイサイドユースホステル

今年4月開設の新しいユースホステル( )

テーマ：Ekologio en nia ĉiutaga vivo

ホームページ <http://www.jej.jp/ks/index.html>





La 3a foto: Mi kaj mia hungara gastiganto d-ro Petro Paŭlo DENKE sur iu strato en Budapeŝto. Ni interkonatiĝis en la IJK okazinta en Francio antaŭ 31 jaroj. Li poste vizitis Japanion kaj tranoktis ĉe mi en la studenta loĝejo.



ペランチストの数が少なくても、存在を知っている人さえ少なくても、エスペラントを身近に感じているので外野の雑音はものともせずです。



ドイツからのお客様 マンフレッド(4月21日)

外国のお客さん達を目の当たりに見ている、エスペラント部員でない常連さんがコーヒーを飲みながら、「ねこの手ハウス」を時々エスペラントの日にしたらどう？と本気で言うほどエスペラントは浸透しています。総会の時の交流会(自立支援の会グループねこの手の運営委員10名中7名がエスペラント部員です)でエスペラントの歌をみんなで歌ったり、月一回の歌声喫茶の日にエスペラントの歌も歌ったり、エスペラント部の活動の写真がお休み処に常置してありますし、外界がどうであれエスペラント部の人達は自信を持ってエスペランチストであり続けることができます。

私自身も思っていなかった展開になり、またエスペラントと関わっていくことになりました。メンバーの誰かが言っていました。「どこかに習いに行くのならエスペラントを始めていなかったけど、いつも身近に山口さんがいるからやっている」みんなの世界が広がるかも知れない可能性を応援するために、自分も楽しめる範囲で勉強しつつ案内人を続けます。

.....

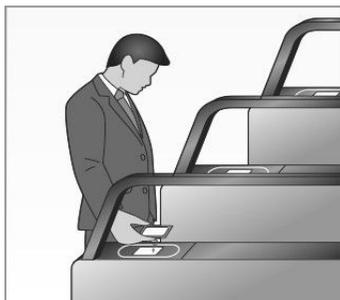
毎月大体第一月曜日と第三月曜日午後1時から集っています。参加費は一回 500 円おやつ付です。講師役の私の負担になりすぎないように、生徒役の人達にほどほどの脳トレになるように、初級程度の内容を繰り返しています。参加歓迎です。  
(おしまい)

## Senkontaktaj Kartoj furoras en Japanio.

MORIKAWA Kazunori

### Senkontaktaj Kartoj uzataj Ĉiutage

Ĉiutage milionoj da pasaĝeroj pasas tra aŭtomata bilet-kontrola maŝino por uzi trafikilon en kaj ĉirkaŭ Tokio. Multaj pasaĝeroj pasas tra la maŝino nur tuŝinte per sia karto ĝian specifan ebenan parton. Kiamaniere ili povas pasi tra la maŝino? Tiu ĉi karto enhavas senkontaktan komunikeblecon. La ebena parto estas Legilo/Skribilo por legi datumojn el la karto kaj skribi datumojn en la karton. Nome la maŝino kapablas kontroli pasaĝeran karton senkontakte, ĉu ĝi estas ĝusta aŭ ne. Nun pli ol 30 milionoj da senkontaktaj kartoj estas uzataj kiel "SUICA" en Kantoa distrikto, "ICOCA" en Kansaja distrikto kaj aliaj. Tiuj kartoj certe disvastiĝas tra la tuta Japanio. Ili estas uzataj ankaŭ kiel elektronika mono, tial oni povas aĉeti ion en vendejo uzante ilin eĉ sen mono. Kaj alia senkontakta karto nomata "TASPO" estas uzata por distingi plenkreskulon en cigaredo-aŭtomato.



Bilet-kontrola maŝino



TASPO-legilo en aŭtomato

この記事はJEL(日本エスペラント学会)のLa Revuo Orienta 誌 2008年2月号の評論欄 Monada Podieto に寄稿したものが元になっています。RO誌ではB5判1ページのため、字数が制限され、図を付けることができませんでした。今回は加筆の上、図を追加し、読みやすくしました。日本語の概要が8ページ下にあります。(森川)

## IJK 2008 (国際青年大会)

IZUMI Yorimiti (Nagano)

La Internacia Junulara Kongreso (IJK) 2008 okazis en Szombathely, Hungario. Ĝi daŭris de la 26a de julio ĝis la 2a de aŭgusto ĉi-jare. La kongresa temo estis "Minoritataj rajtoj individuaj kaj kolektivaj". Troviĝis tema, vespera, distra programeroj, ekskursoj, ktp.

Mi partoprenis ĝin kun mia filo. Montrante ĉi-subajn fotojn, mi parolas al vi mian sperton en la IJK.

La 1a foto: Mia filo (la kvara de dekstre) ĉeestis en la kurso por komencantoj. Partoprenis ne malmultaj komencantoj el diversaj landoj en la kongreso.



La 2a foto en la sekvanta paĝo: Okaze de la kultura kaj lingva festivalo. Japanoj vestitaj per tradiciaj kostumoj dancis japanstile, skribis la nomojn de la partoprenantoj en kana-silaboj aŭ ĉinaj ideografiaĵoj, ktp.

らめることに。結局10名の参加でした。次は3年後に五郎さんが幹事をやると宣言してくれました。RH全盛期の仲間達の多くがエスペラントから離れている人もいない人も未だにつながっていることを嬉しく思います。



(筆者は右から5人目)

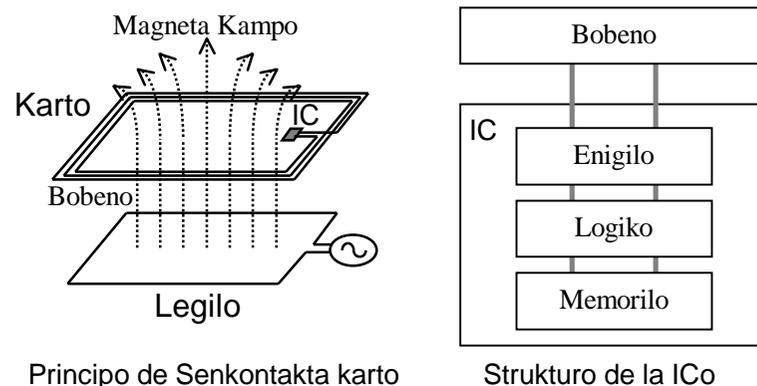


(筆者は右から1人目)

## Principo de Senkontakta karto

La senkontakta karto ne havas en si propran energi-fonton kiel baterion. Kiamaniere ĝi kaptas energion? La legilo sendas energion al ĝi senkontakte laŭ la fenomeno de Elektro-magneta Indukto, kiun karaj legantoj certe lernis en scienca leciono de meza lernejo. Ideo pri la senkontakta karto supozeble naskiĝis en 1940-aj jaroj, sed ĝi ne efektiviĝis longe. Lastatempa revolucia teknika progreso de IC (Integra Cirkvitaro) efektivigis ĝin.

La karto konsistas el nur du elektronikaj pecoj: Bobeno kaj ICo. La ICo inkluzivas elektronikan cirkviton de malmodulo kaj modulo por signaloj, logiko, kaj ne-volatila memorigilo, kiu konservas datumojn sen baterio.



Principo de Senkontakta karto

Strukturo de la ICo

Jen estas la sinsekvaj funkcioj de la legilo kaj la karto:

- (1) La legilo radias alternan magnetan kampon kun la frekvenco de 13.56 megahercoj. La modulita kampo inkluzivas ankaŭ ordonon al la karto.
- (2) Tuj kiam la karto proksimiĝas al la legilo, elektra tensio estiĝas en ĝia bobeno. Tiu tensio estas alterna, sed elektronikaj cirkvitoj bezonas direktan kurenton kiel energion.
- (3) La enigila cirkvito de la ICo ŝanĝas alternan kurenton al kontinua kurento kaj donas elektran energion al aliaj cirkvitoj. Samtempe, malmodulinte alternan tension, ĝi akiris ordonon de la legilo kaj donis al la logika cirkvito.

(4) Laŭ la ordono la logika cirkvito akiris datumojn el la memorilo kaj resendas ilin al la legilo.

### Problemo de Senkontakta karto

Kio estas futura problemo por la senkontakta karto en Japanio? Internacie troviĝas la komunaj komuniko-metodoj por senkontakta karto. La internaciaj kartoj estos uzataj kiel pasporto kaj internacia aŭtista licenco ktp. En Japanio oni ofte uzas karton nomatan FeliCa, produktita de unu entrepreno. Ĝi estas aplikata kiel divers-specaj kartoj: SUICA, ICOCA, Edy kaj aliaj. Ĝi estas uzata nur en Japanio kaj Honkongo, sed ne internacie. Tio povas esti ja futura problemo pri internacia uzado de la kumuna senkontakta karto.

Dume TASPO estas tute alia ol FeliCa kaj ĝia senkontakta komunika metodo konformas al Tipo A de la internacia normo ISO/IEC 14443, kies kartoj vaste disvastiĝas en Eŭropo.

Paranteze, la nomo “FeliCa” ne devenas el esperanta “Feliĉa” bedaŭrinde, sed anglalingvaj “Felicity” (Feliĉo) kaj “Card” (Karto).

#### [概要] 「非接触カードが日本で流行」

JR等の交通機関、電子マネー、タバコ自動販売機の成人認証で非接触カードが使用されている。カードは電池を持っていないが、電磁誘導現象を利用し、読取り器からエネルギーを得ている。将来の課題は、日本の主なカードの非接触交信方式が日本独自のものであり、国際的には使用されていないことである。



Ni manĝu akvomelonon!

## 同窓会続いています (広島RH同窓会)

山口百合子(横浜)

中井ちゃんからはがきが届きました。この前の同窓会から3年たちました。宮島の紅葉谷で大きな水色のビニールシートを敷いて待っています。出欠は不要です。紅葉谷は広い。出欠は不要？お昼は？ファジーだらけでも気心の知れた仲間達のこと。信じていざ現場へ。ビニールシートを敷くまでもなく丁度良い屋根付きのベンチで中井ちゃんが待っていました。オヤジとカセーチョ夫婦はあちこちにエスペラントのバッジをつけて現れました。はがきに3年前と書いてあったけど、違う気がしてその時の記事が載っているLHを探して確認したら5年前じゃったど、とおやじ。中井ちゃんもみんなも月日のたつ速さに驚く。大前ちゃんは前日来て三枝子さんと会ってからの参加です。さこま氏となっちゃん夫婦は車で関西から来たそうです。35年ぶりの再会です。幹事の一人のはずの五郎さんは遅れて悠然と到着しましたが、その後は写真係として活躍。また後から来る者がいるかもしれないからと緑の星のポスターをあちこちに貼ってきました。宝塚から車でこちらに向かっているというエンヤとおきょうさん夫妻が中井ちゃんの携帯に現在地を知らせてきます。真由美さんからももうすぐ家を出ると能美島から電話が入ります。静かな紅葉谷でひとしきり昔話をして、お昼は予約してくれていたあなごどんぶり定食の店へ。二次会ではエアコンのきいた喫茶店でおしゃべり。関西から来た4人はオヤジの家に泊まることになっています。リリーチョも来ないかと誘ってくれましたが、あまりの暑さに気力があらずここでお別れ。能美の真由美さんは間に合いそうもないので参加をあきら

< 編修部より >

広島RHの初期メンバ(1966~69年に入会された方々)の同窓会です。5年前にも開催されており、本誌197号(2003年11月)に山口さんの記事が載っています。

ニックネームで書かれている様子はまさしく同窓会です。エスペラントを今もやっている人は少ないですが、人と人の触れ合いが続くのは大変良いことです。

なお、「リリーチョ」(Lilico)は筆者の学生時代からのニックネームです。